

第2期 八百津町

まち・ひと・しごと創生  
総 | 合 | 戦 | 略

概要版

杉原千畝の心を育んだまち やおつ

令和2年3月  
八百津町

# ▼ 第2期八百津町総合戦略策定に当たって

## 1 背景と目的

日本全体の問題となっている少子高齢化の流れの中で、地方においては働き手・担い手である若者の減少による地域のにぎわい喪失などの問題が顕著となっており、自治体が定住促進を図ることは共通の大きな課題となっています。

本町では、人口減少の克服に向けて、活力ある八百津町であり続けるための効果的な「まち・ひと・しごと創生」の施策を展開するにあたり、平成28年3月策定の八百津町人口ビジョンにおける八百津町の人口の将来展望を見直し、「第5次八百津町総合計画」によるまちづくりを基本とし、基本目標として「八百津に呼び込む」「八百津で稼ぐ」「人を育む」「安心をつくり・まちをつなぐ」の4つの重要な柱を掲げています。

また、総合戦略を推進する上で、それぞれの施策において今後5年間の指標を定め評価・検証をするともに、庁内の組織体制の強化を図り、町民の皆様をはじめ、産業界、行政機関、教育機関、労働団体、メディアなどの様々な立場から参画をいただき、地域が一つになって、本戦略の推進に取り組んでいきます。

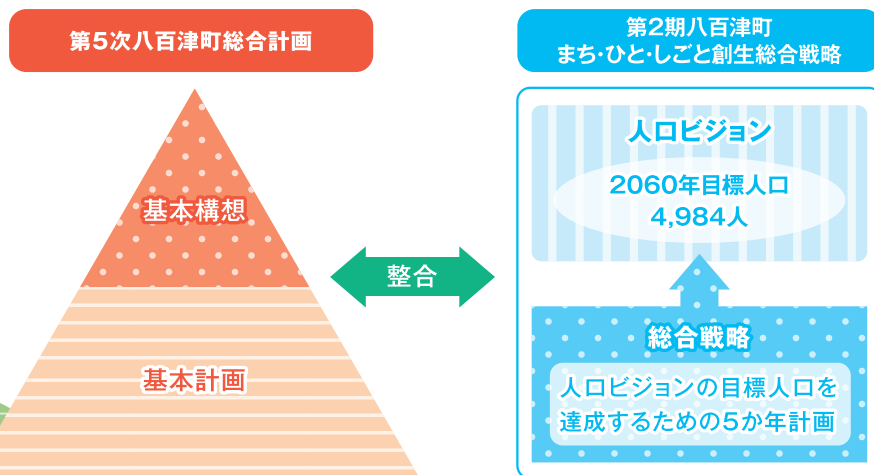
## 2 総合戦略の対象期間

「第2期 八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の期間は、令和2年度(2020年度)～令和6年度(2024年度)の5年間とします。



## 3 総合戦略の位置づけ

「第2期 八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、平成29年度を初年度とする第5次八百津町総合計画との整合を図りながら、町の「地方創生」に関する施策を戦略的に実行し、「杉原千畝の心を育んだまち やおつ」をつくるものです。



## 4 基本的な考え方

これまで、本町が築き上げてきた歴史や文化・教育を次世代へと引き継ぎ、「やさしさとみどりあふれる活気あるまちやおつ」を基本にまちづくりを着実に進めていきます。

本町には木曾川の清流、蘇水峡、五宝滝に代表される水とみどりの美しい自然環境などの豊かな資源、そして何より、杉原千畝の人道精神があります。「杉原千畝の心を育んだまち」として、人権教育を推進し、人権に対する道徳を讃えながら、「命の大切さ」や「思いやりの心の大切さ」を世界へと発信していきます。



杉原千畝

すべての町民にとって、杉原千畝の温かい人間愛の精神は、かけがえのないものであり、豊かな自然に触れ、人道精神を次世代へ受け継いでいくことで、グローバルな視野で知性を向上させ、これからの八百津町を担っていくたくましい人づくりを目指します。

本町のまち・ひと・しごと創生は、人口減少と地域経済縮小を克服するものであり、長期的には本町で「ひと」をつくり、その「ひと」が「しごと」をつくり、「まち」をつくるという流れを確かなものにするための総合戦略です。「ひと」づくりとは、杉原千畝の精神が生み出すところの道徳です。すべての根本がこの「人道と道徳」から発しています。

## 5 SDGsとの整合

SDGs〔エス・ディー・ジーズ〕とは、「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略です。2015 (平成27) 年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016 (平成28) 年から2030 (令和12) 年までの国際目標です。第2期八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定するにあたって、このSDGsの視点を取り入れることとします。



# ▼ 八百津町人口ビジョンにおける将来目標人口の見直し

平成27(2015)年度から5年間にわたる地方創生の取組による人口減少対策の成果が一定程度にとどまっています。本町では、これまでの人口ビジョンが目指す将来の方向性や基本姿勢は維持しつつも、将来目標人口について次のとおり修正することとし、あわせて、その実現に向けた「第2期 八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、本町の実情に合わせて4つの基本目標を設定しています。

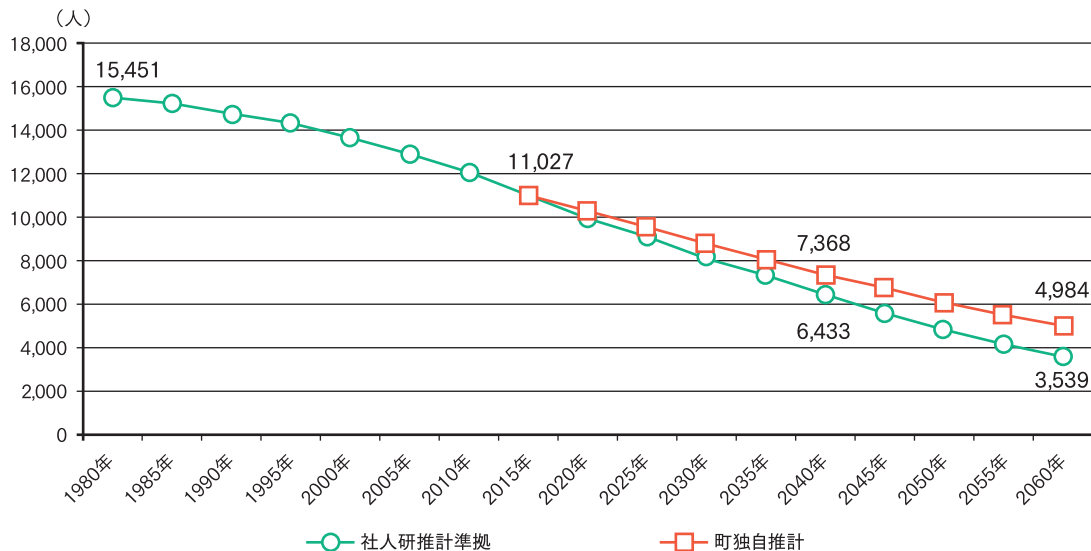
将来  
目標人口

人口ビジョンの計画期間の目標

令和22(2040)年に総人口約7,400人を維持  
令和42(2060)年に総人口約5,000人を維持

## 八百津町の「人口ビジョン」が示す中長期展望

- 最新の内閣府地方創生推進室「将来人口推計のためのワークシート」に基づく社人研推計準拠値によると、2060年の八百津町総人口は3,539人まで減少すると見通されています。
- 2015年→2020年(令和1年社人研推計準拠)の純移動率が、2010→2015年(平成27年社人研推計準拠)の移動率に比べ転入減少、転出増加の傾向が強くなっているため、仮に、平成27年社人研推計準拠による純移動率のレベルまで回復すると、2060年の人口は約5,000人となります。



# ▼ 第2期八百津町総合戦略の基本的方向と具体的施策

## 基本目標

# 八百津に呼び込む

## 1

自然環境と文化・伝統を活かした 魅力あふれる やおつ

### 1 基本的な方向

- ◆ 広域的な観光連携の推進を図りながら、本町の地域資源を磨き、活用することで八百津町が一丸となったタウンプロモーションを進め、本町を好きになる人の増加を図っていきます。
- ◆ 特色あるスポーツ施設の活用によるスポーツ交流などで八百津町の魅力を効果的に伝えながら、本町に関わる人の増加を図るとともに、町民の健康増進や生きがいづくりを促進していきます。
- ◆ 人のやさしさやみどりあふれる本町の魅力を、「ちょうどいい田舎」での田舎暮らしで直接的に体験してもらい、移住・定住者及び関係人口の増加につなげていきます。
- ◆ 町民の町内での正規雇用従業員としての雇用及び町外から通勤している正規雇用従業員の八百津町への定住を促進し、人口減少の抑制と地域経済の活性化を図ります。

### 数値目標

杉原千畝記念館集客数 ▶ 年間40,000人【基準値：平成30年度27,024人】

社会増減数(純移動数) ▶ 年間マイナス25人【基準値：平成30年マイナス85人】

### 2 重点施策

- ① SNSを利用したPRの推進施策    
- ② 複合スポーツ施設を活用したスポーツ振興とスポーツ交流の拡大施策 
- ③ 「ちょうどいい田舎」体験施策 
- ④ 雇用促進奨励金交付事業   

### その他 関連事業

- 空き家バンク移住推進事業
- 地域おこし協力隊による地域活性化事業
- 山の拠点づくり事業




## 1 基本的な方向

- ◆ 本町の自然環境等を活かした、町内農産物のブランド化や加工販売を行う6次産業化に積極的に取り組み、地域に活力を生み出しながら、担い手の確保や新たな雇用の創出へとつなげていきます。
- ◆ 「まちなか」にぎわいの再生に向け、商店街等の空き家・空き店舗の把握と流動化を図り、地域のニーズに合った空き家・空き店舗の活用を推進することで、新たな起業や雇用を生み出して地域産業の活性化を図っていきます。
- ◆ 再生可能エネルギー活用事業の展開に向け、産官学や民間企業の技術力と連携し、町内の再生可能エネルギー資源を活かしたビジネスモデルの構築を目指し、地域経済の活性化に取り組めます。

### 数値目標

新規就農者数 ▶ 5年間で10人 【基準値:平成26～令和元年累計6人】

## 2 重点施策

- ① 農産物ブランド化の推進施策 
- ② 空き店舗魅力いっぱい再生事業 
- ③ 「八百津町再生可能エネルギー活用事業」 

### その他 関連事業

- 新規就農者育成事業
- 八百津町小口融資利子補給制度の推進

## 1 基本的な方向

- ◆ 杉原千畝氏の人道精神を継承するため、人権教育を推進し、命の大切さや思いやりの心の大切さを知る子どもたちの育成を図ります。また、国際理解を深めグローバルな視野で物事を考え、ふるさとに愛着を持つことができる子どもたちの育成に取り組みます。
- ◆ 子育て世代のニーズに柔軟な対応ができ、安心して子育てができる保育・教育環境を整備するとともに、保育助務員を配置するなど、保育士の勤務環境を改善し、保育士の確保に取り組み、次世代を担う子どもの育成を支援します。
- ◆ 妊娠、出産、子育ての切れ目ない支援を行うための仕組みを構築します。妊娠・出産を望む夫婦の経済的負担の軽減や、「パパママ教室」などの実施により、安心して妊娠・出産・育児ができる環境を構築します。

### 数値目標

合計特殊出生率 ▶

令和6年(2024年) 1.39

令和42年(2060年) 1.42

【基準値:平成27年1.32】(人口ビジョン目標人口より)

## 2 重点施策

① 国際的視野を持ちふるさとを愛する子どもを育む施策



② 安心して子育てができる保育・教育環境の支援施策



③ 安心して出産を迎えるための支援施策



### その他 関連事業

- 乳幼児期の子どもと親の成長支援



## 1 基本的な方向

- ◆ 「みのかも定住自立圏共生ビジョン」を引き続き推進するとともに、関係する地方公共団体との新たなつながりを創出し、地域間・官民連携の強化を図ります。
- ◆ 住み慣れたまちで元気に暮らし続けられるように、地域と協働で交通ネットワークづくりを推進します。
- ◆ 自助・共助に基づく自主防災組織の活動を支援するとともに、町民一人ひとりの防災意識の向上・地域防災力の強化を図り、災害に強いまち・ひとづくりを推進します。

### 数値目標

八百津町は、「住みやすい」と答えた人の割合 ▶ 令和6年度目標70.0%  
【基準値：令和元年59.2%】

## 2 重点施策

- ① 定住自立圏の推進と地域間・官民連携施策
- ② 持続可能な地域交通ネットワークの形成
- ③ 災害に強いまち・ひとづくり施策



### その他 関連事業

- 学校給食地産地消の推進事業
- 連携大学文化交流事業

発行年月：令和2年3月

発行：八百津町 役場 総務課

TEL 0574-43-2111 FAX 0574-43-0969